

**平成 28 年度 公認スポーツドクター養成講習会
開催要項**

1. 目的 全国各地でスポーツ活動を実践している人達の健康管理やスポーツ外傷・障害に対する予防、治療等の臨床活動を行うとともに、スポーツ医学の研究、教育、普及活動にあたる医師を対象に「公益財団法人日本体育協会公認スポーツドクター設置要項」に基づき、標記 養成講習会を開催する。

2. 主催 公益財団法人 日本体育協会

3. カリキュラム 基礎科目Ⅰ・Ⅱ(25 単位)
応用科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(27 単位)【別紙カリキュラム一覧参照】

4. 実施方法 <新規受講者・過年度継続受講者>

科目	期日	会場	定員
基礎科目Ⅰ	10月15日(土) 9:50～18:00 10月16日(日) 9:00～17:50	「ベルサール半蔵門」 〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-4	各300名
基礎科目Ⅱ	平成 29 年 1月21日(土) 9:55～17:40 1月22日(日) 9:00～16:50		

<新規受講者(基礎科目免除者)・過年度継続受講者(基礎科目修了者・基礎科目免除者)>

科目	期日	会場	定員
応用科目Ⅰ	9月3日(土) 12:45～17:30 9月4日(日) 9:00～15:30	「ベルサール飯田橋ファースト」 〒112-0004 東京都文京区後楽2-6-1	各300名
応用科目Ⅱ	12月3日(土) 12:55～17:30 12月4日(日) 9:00～15:30		
応用科目Ⅲ	平成29年 2月11日(土) 12:55～17:30 2月12日(日) 9:00～15:40	「ベルサール半蔵門」 〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-4	300名

【注意事項】

- 期日は予定であり、事情により変更する場合がある。
- 基礎科目はスポーツデンティスト養成講習会(医科共通)と同一日程・会場で実施する。
- 講習は単位制とし、各科目においてはⅠ・ⅡあるいはⅢのいずれからでも受講できる。
- 日本医師会認定健康スポーツ医の資格保有者または日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論(25 単位)または総論 A 修了者は、基礎科目が免除となる。
- 応用科目は、前年度までに基礎科目を修了した者(日本体育協会発行の「基礎科目修了証明書」保有者)または基礎科目免除者が受講できる。同一年度内に基礎科目と応用科目を同時に受講することはできない。
- 各科目の定員には、過年度継続受講者を含む。

5. 受講条件 平成 28 年 4 月 1 日時点で日本国の医師免許取得後 4 年を経過(平成 24 年 4 月 1 日以前に取得)しており、本会または本会加盟(準加盟)団体より推薦され、本会が認めた者。

6. 募集人数 基礎科目からの受講者:110 名程度
応用科目からの受講者:80 名程度
7. 申込方法 受講希望者は以下の書類を推薦団体へ提出する。推薦団体は申込書類を確認のうえ、
所定の推薦様式により日本体育協会(以下「本会」)へ提出する。
(1) 新規受講申込書(顔写真貼付)
(2) 医師免許証の写し(A4 サイズ)
(3) 日本医師会認定健康スポーツ医の認定証 または日本整形外科学会認定スポーツ
医学研修会の総論(25 単位)または総論 A 修了証の写し(基礎科目免除申請者)
8. 申込期限 推薦団体が別に定める。
なお、推薦団体から本会への提出期限は 平成 28 年 5 月 9 日(月)必着とする。
9. 受講者の決定 (1) 内定
- 本会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会(以下、「ドクター部会」)にて審査のうえ受講者を内定し、該当者および推薦団体へ通知する。受講希望者が多数の場合は推薦順位、推薦理由等を考慮のうえ審査を行い、内定者を決定する。
 - 受講内定者は、内定通知に従いインターネット上のスポーツ指導者マイページより養成講習会への申し込みおよび受講料の納入を完了すること。指定期日までに受講料を納入しない場合は内定を取り消す場合がある。
- (2) 受講決定
- 受講料納入者に対し受講決定通知を送付する。
 - 受講有効期間は以下の通りとする。
基礎科目からの受講者:受講開始年度を含め6年間
応用科目からの受講者:受講開始年度を含め3年間
 - 受講期間中に日本医師会認定健康スポーツ医の資格を取得または日本整形外科学会認定スポーツ医学研修会の総論(25 単位)または総論 A を修了した者は、その証明書類の写しを提出することにより基礎科目が免除される。年度途中に基礎科目免除となった者は、同年度内から応用科目を受講できる。
 - 受講有効期間内に全てのカリキュラムを修了できない場合は、ドクター部会で受講期間の延長が認められた場合を除き、再度新規受講申込を必要とする。
 - 受講者としてふさわしくない行為があったと認められたときは、ドクター部会で審査のうえ、受講が取り消される。
10. 受講料 基礎科目からの受講者:50,400 円(教材費含む)
応用科目からの受講者:28,800 円(教材費含む)
【注意事項】
- 一旦納入された受講料は返金しない。
 - 受講料は本会が送付する受講内定通知到着後に納入すること。
 - 上記受講料は受講修了あるいは受講有効期限まで有効となる。
 - 養成講習会参加に係る経費(宿泊、交通費等)は自己負担とする。
11. 資格取得 (1) 基礎科目修了(基礎科目免除者を除く)
- 基礎科目修了者には、当該年度末に基礎科目修了証明書を発行する。
- (2) 受講修了

- 全てのカリキュラムを修了した者には、本会より受講修了通知および資格審査にかかるスポーツ医学臨床経歴書を送付する。
- 受講修了者はスポーツ医学臨床経歴書に必要事項を記入し、指定期日までに推薦団体を通じて本会へ提出する。

(3) 審査

- ドクター部会にてスポーツ医学臨床経歴書を基に相当の臨床経験を有しているかの審査を行い、公認スポーツドクター新規登録対象者を決定する。

(4) 登録および認定

- 新規登録対象者は、本会より別途送付される登録手続きに関する案内に基づき、指定期日までに登録料を支払う。
- 登録料は4年間で40,000円とする。新規登録時は初期登録手数料として別途3,000円が必要となる。
- 新規登録対象者からの登録料支払いをもって公認スポーツドクターとして認定し、認定証および登録証を交付する。資格有効期間は4年間とする。

12. その他

(1) 未修了者の次年度以降の受講について

- 前年度までに全てのカリキュラムを修了しなかった者には、受講有効期間満了まで、本会より当該年度の受講案内を送付する。
- 受講者は開催日程等確認のうえ、所定の方法にて養成講習会参加を申し込む。

(2) 資格更新のための義務研修について

公認スポーツドクターは、有効期限を迎える6ヶ月前までに本会が定める研修会(義務研修)に参加しなければならない。

(3) 個人情報の取扱いについて

本養成講習会の受講に際し取得した個人情報は、本会および加盟団体が本養成講習会の実施に関する連絡(資料の送付等)やスポーツドクター関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に利用しない。

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人 日本体育協会 スポーツ指導者育成部 スポーツドクター担当

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館

TEL:03-3481-2226 FAX:03-3481-2284 メール:sports-doctor@japan-sports.or.jp

**フェアプレイで日本を元気に ～あくしゅ、あいさつ、ありがとう～
目指せ100万人のフェアプレイ宣言! WEBで好評受付中!**

<http://www.japan-sports.or.jp/fair/> 公益財団法人 日本体育協会



スポーツ振興くじ助成事業

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0(ゼロ) 心でつながるスポーツの絆

日本体育協会 公認スポーツドクター養成講習会 カリキュラム

カテゴリー	カリキュラム No.	カリキュラム	時間	単位数
基礎 平成23年度から	1	スポーツ医学概論	1h	1
	2	神経・筋の運動生理とトレーニング効果	1h	1
	3	呼吸・循環系の運動生理とトレーニング効果	1h	1
	4	内分泌・代謝系の運動生理とトレーニング効果	1h	1
	5	運動と栄養・食事・飲料	1h	1
	6	女性と運動	1h	1
	7	発育期と運動 — 小児科系	1h	1
	8	中高年者と運動 — 内科系	1h	1
	9	発育期と運動 — 整形外科系	1h	1
	10	中高年者と運動 — 整形外科系	1h	1
	11	メンタルヘルスと運動	1h	1
	12	運動のためのメディカルチェック — 内科系	1h	1
	13	運動のためのメディカルチェック — 整形外科系	1h	1
	14	運動と内科的障害(急性期・慢性期)	1h	1
	15	スポーツによる外傷と障害(1) — 上肢	1h	1
	16	スポーツによる外傷と障害(2) — 下肢	1h	1
	17	スポーツによる外傷と障害(3) — 脊椎・体幹	1h	1
	18	スポーツによる外傷と障害(4) — 頭部	1h	1
	19	運動負荷試験と運動処方の基本	1h	1
	20	運動療法とリハビリテーション — 内科系疾患	1h	1
	21	運動療法とリハビリテーション — 運動器疾患	1h	1
	22	ドーピング防止	1h	1
	23	障害者とスポーツ	1h	1
	24	保健指導	1h	1
	25	スポーツ現場での救急処置	1h	1
合計			25h	25

カテゴリー	カリキュラム No.	カリキュラム	時間	単位数
応用 平成24年度から	26	スポーツと環境	1h	1
	27	スポーツによる精神的障害	1h	1
	28	メンタルトレーニング	1h	1
	29	筋力トレーニングの理論と実際	1h	1
	30	持久性トレーニング	1h	1
	31	スポーツバイオメカニクス	1h	1
	32	アスリートの体力評価	1h	1
	33	スポーツによる内科的障害	1h	1
	34	循環器疾患とスポーツ	1h	1
	35	呼吸器疾患とスポーツ	1h	1
	36	腎・肝・消化器疾患とスポーツ	1h	1
	37	スポーツ外傷・障害の最新情報(1) — 脊柱・骨盤・大腿	1h	1
	38	スポーツ外傷・障害の最新情報(2) — 肩	1h	1
	39	スポーツ外傷・障害の最新情報(3) — 肘・手関節・手指	1h	1
	40	スポーツ外傷・障害の最新情報(4) — 膝	1h	1
	41	スポーツ外傷・障害の最新情報(5) — 下腿・足関節・足部	1h	1
	42	スポーツ外傷・障害の最新情報(6) — その他の外科的疾患	1h	1
	43	アスレティック・リハビリテーション	1h	1
	44	アスリートの健康管理の実際	1h	1
	45	ドーピング・コントロールの実際	1h	1
	46	大会救護と救急医療	1h	1
	47	競技と安全対策	1h	1
	48	テーピング・ブレース	1h	1
	49	スポーツと海外遠征	1h	1
	50	スポーツと歯科	1h	1
	51	スポーツと眼科	1h	1
	52	スポーツとアレルギー疾患	1h	1
合計			27h	27